

長瀬周辺案内図



長瀬観光のことなら「長瀬町観光案内所 ☎0494-66-0307」へ 長瀬観光

利用案内

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
※ 7月・8月は17時まで(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日(祝日、振替休日、7月・8月は開館)
資料閲覧休館(9月5日～9月12日)
年末年始(12月29日～1月3日)
その他臨時休館あり

観覧料

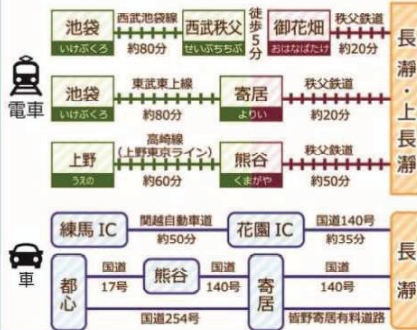
区分	観覧料	団体観覧料 (20名以上)	年間観覧券 (2.0名以上)
一般	200円	120円	1500円
高校生・大学生	100円	60円	750円

※ 中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(介助者1名)は無料
※ 学校の学芸活動等は、申請により無料になります。

施設使用料 講堂：640円 会議室：220円(1時間あたりの金額)

交通情報

秩父鉄道「上長瀬駅」から徒歩5分 「長瀬駅」から徒歩15分



お問い合わせ

埼玉 県立 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1
TEL 0494-66-0404(総務) 0494-66-0407(学芸)
FAX 0494-69-1002
E-mail t660404@pref.saitama.lg.jp



博物館公式P



▲埼玉県マスコット
「さいたまっちゃん(ハトン)」

学校教育支援 ガイドブック

自然の博物館は
学校と協働して児童生徒の学びをサポートします！

博物館で！

博物館に展示してある
たくさんの標本を見て学びます。

学校支援3本柱！

現地で！

実際に現地に行き、
自然を体験します。

学校で！

博物館ならではのプログラム。
学校で貴重な体験ができます。



学校教育支援については企画・広報担当にお問い合わせください。
TEL 0494-66-0407(学芸)
E-mail t6604042@pref.saitama.lg.jp

埼玉 県立 自然の博物館

展示ホールの見学（観覧）

展示では、化石や鉱物、動物、植物など、埼玉の自然について紹介しています。

理科、生活科、総合的な活動の時間など教科の学習、遠足などの校外学習、夏休みの自由研究での課題研究の発見におすすめです。

観覧について
(学校・教育委員会)



石灰岩



埼玉の森を再現した大ジオラマ



さわられるはく製コーナー



※講堂(定員120名)、会議室(定員24名)、バス駐車場(2台分)のご利用には、予約が必要となります。

モデルコース

当館の利用例を紹介します。

モデルコースについて



①観覧 + 岩畳(虎岩)散策

自然の博物館 (60分)

岩畳見学 (90分) ※虎岩 (40分)

②宝登山 + 観覧

宝登山 (70分)

自然の博物館
(60分)

神社

ロープウェイ

小動物園

③ジオパーク秩父巡りの一環として ※たくさんの巡り方があります
例 美の山公園 → 自然の博物館(岩畳) → 取方の大露頭 → 秩父神社

美の山公園

自然の博物館
【観覧】

取方の大露頭
【地層の観覧】

秩父神社
【歴史に触れる】

④大滝げんきプラザ + 観覧

大滝げんきプラザ
【宿泊・体験活動等】



自然の博物館/岩畳
【観覧】 / 【自然学習】

貸出キット 一覧表

埼玉県立自然の博物館

	キット名と数量	内容	対象と画像
1	昆虫の裏表標本セット 数量:1セット	同じ種類の昆虫を異なる個体で、表向きにした標本と裏向きにした標本を対にしたもの。 本物の昆虫を間近に見ながら、昆虫のからだのつくりを観察できる。 <昆虫の種類> ※次の昆虫から10種類。それぞれ裏表1組ずつ。 ・甲虫のなかま(カトムシなど) ・ハチ ・カマキリ ・バッタ ・セミ ・トンボ ・チョウ	理科・小3 昆虫の成長と体のつくり 理科・中1 動物の特徴と分類の仕方 
2	荒川の岩石同定セット 数量:26セット	荒川の岩石を7種類セットにしたもの。 岩石の同定を通して岩石の特徴を学ぶことができる。 <岩石の種類> ①閃緑岩 ②灰岩 ③チャート ④砂岩 ⑤泥岩 ⑥結晶片岩 ⑦蛇紋岩	理科・小5 流れる水のはたらきと土地の変化 理科・小6 土地のつくりと変化 理科・中1 身近な地形や地層、岩石の観覧 
3	れき岩・砂岩・泥岩の標本セット 数量:12セット	れき岩・砂岩・泥岩をセットにしたもの。 実際に岩石や岩石を構成する粒をさわることにより堆積岩の粒の大きさの違いを実感することができる。 れき・砂・泥がそれぞれ堆積しやすい場所を示すカード(下図)を用いて風化→浸食→運搬→堆積の流れをより深く学習することができる。 	理科・小6 土地のつくりと変化 理科・中1 身近な地形や地層、岩石の観覧 
4	火山灰と砂のセット 数量:12セット	火山灰と砂(海岸の砂)をセットにしたもの。 火山灰の洗い出しを行うことで、鉱物の観察ができる。また、火山灰と砂を比較することで、空中を飛んで堆積した粒と流水により堆積した粒の形の違いについて学ぶことができる。 火山灰観察カードで洗い出し前後の火山灰のようすを観察することもできる。	理科・小6、中1 火山灰(鉱物)の観覧  ※約40万年前に信州から飛んできた火山灰が堆積 ※火山灰をパウチし、観察できるようにしたもの
5	化石のレプリカ作成用の型のセット 数量:1セット	化石のレプリカ作成用の型をセットにしたもの。 本物の化石からつくった型で、中に石膏やプラスチック粘土を詰めてレプリカを作成できる。 <型の種類> ・サメの歯 10個 ・サンヨウチュウ 20個 ・アンモナイト 20個 ※貸出しの個数は、相談により調整可能です。	小学校 総合的な学習の時間、図画・工作  見本  プラスチック粘土で作成したレプリカ
6	骨格標本セット 数量:1セット	セキツイ動物のあしを中心とした骨格標本。 相同器官の学習に役立つ。 <動物の種類> ・スズメ ・カラス ・ネズミ ・コウモリ ・カエル ・シカ(右図の右側)	理科・小4 骨と筋肉 理科・中3 生物の種類の多様性と進化  解説のしおり 前あしの骨格標本

講師派遣 一覧表 (学校教育支援プログラム)

埼玉県立自然の博物館

分類	タイトル(所要時間)	内容	主な対象
体験学習 	①岩畳の自然観察 岩畳コース(約90分) 虎岩コース(約40分)	日本地質学発祥の地と呼ばれる長瀬の昆虫、植物、岩石等を観察する。	遠足などの校外学習 理科 総合的な学習の時間
	②水生昆虫の観察 (約2時間)	水生昆虫を採取して、からだのつくりやはたらきを学ぶ。 水辺の植物の観察と合わせて水辺の環境を理解する。	総合的な学習の時間 「環境学習」 (6月～10月)
	③校庭や学校周辺の植物の観察 (約2時間)	学校の校庭や周辺の植物を観察し、そのつくりや特徴について学ぶ。 ※場所は学校やその周辺です。	小3 「身の回りの生物」
	④地層と化石の観察 (約2時間)	化石が含まれている石や地層について学び、実際に石を割り、化石を採取する。採取した化石から、当時の環境について学ぶ。	中1 「大地の変化」 総合的な学習の時間
出前授業 	①動物のからだのつくり (45分授業1コマ)	例1 動物の剥製や骨格標本を観察して、からだのつくりの違いを知り、はたらきを学ぶ。 例2 昆虫の裏表標本を観察し、昆虫のからだのつくりや働きについて学ぶ。	小4 「人の体のつくりと運動」 小3 「身の回りの生物」
	②植物のからだのつくり (45分授業1～2コマ)	植物の標本や写真を使い、様々な植物のからだのつくりや生き方の工夫を紹介する。	小3 「身の回りの生物」
	③土地のつくりと変化 (45分授業1～2コマ)	礫・砂・泥からなる地層の違いを知り、礫岩・砂岩・泥岩のつくりを学ぶ。 火山灰を顕微鏡で観察して、色々な鉱物を理解する。	小6 「土地のつくりと変化」
その他	生物・地質に関する依頼に応じた解説を行う。 ※令和4年度までご案内のプログラムについても行えます。		・生活科 ・理科 ・総合的な学習の時間 など

体験学習・出前授業

岩畳などの当館周辺の自然の解説や自然体験学習の現地や学校に職員を派遣しての学習テーマに応じた解説(出前授業)を行っています。

○体験学習

- 1 岩畳の自然解説 岩畳コース(90分)
虎岩コース(40分)
- 2 体験学習 水生昆虫の観察
学校周辺の植物の観察
地層と化石の観察

講師派遣について
(学校・教育委員会)



○出前授業

- ・動物のからだのつくり
- ・植物のからだのつくり
- ・土地のつくりと変化



水生昆虫の観察



地層と化石の観察

※お申込みは1か月前(10～12月の実施については2か月前)までに行ってください。
なお、学芸員のスケジュール等によりご要望にお応えできない場合もあります。

貸出キット

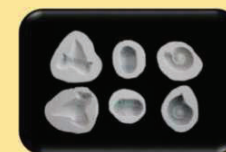
当館では、授業で活用できる普及用の資料を貸し出しています。

- ・昆虫の裏表標本セット
- ・荒川の岩石同定セット
- ・れき岩・砂岩・泥岩の標本セット
- ・火山灰と砂のセット
- ・化石のレプリカ作成用の型のセット
- ・骨格標本セット

貸出キットについて
(学校・教育委員会)



※貸出方法については、原則、当館での直接の借用、返却となります。
ただし、送料をご負担いただければ、宅配便での輸送も可能です。



化石のレプリカ作成用の型のセット



昆虫の裏表標本セット

岩畳・虎岩の自然観察

名勝・天然記念物に指定されている長瀬の豊かな自然を体験するためのコースです。
当館の学芸員が博物館から岩畳に至るまで、地質的な解説をはじめ、周辺で見られる動物や植物の説明をしながら進めていきます。



※写真は教員対象の研修時のものを使用